

ントをつくる必要があると思う。例えば、札幌のヨサコイソーランにみられるように、野外劇について、日本の野外劇フェスティバル、世界の野外劇フェスティバルを、函館でイベントとして行うこと等どうでしょうか。

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北	6月2日	76.19%
出 席	39名		函 館 東	6月1日	80.68%
欠 席	26名		函 館	5月27日	81.48%
他クラブ出席	9名		函館五稜郭	5月28日	100.00%
出 席 合 計	48名		函 館 亀 田	5月31日	84.91%
除 外 者	2名				

・テレフォンサービス (例会移動案内) 電話23-2377番

次回・6月23日
プログラム

「会長・幹事・各委員長退任挨拶」



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1998~99年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

新 博夫会長テーマ『明るく、楽しいロータリー』



6月16日卓話 厚谷 郁夫氏

《第1733回例会》 第47号 6月23日 (水)

本日のプログラム

「五稜郭野外劇について」

実行委員会事務局長 岸部 祐一氏

★会 長 新 博夫 ★幹 事 小笠原 孝

1998～1999

〈第1732回例会〉第46号

6月16日の記録

◎司会 新 博夫 会長 ◎斉唱 それでこそロータリー

◎ゲスト はこだて財界主幹 厚谷 郁夫 氏

◎ビジター 大阪天満橋R.C.松本 忍君、函館R.C.澄 信一君・中山浩一君
・平内靖彦君・坂本修康君・相澤光雄君・石塚元彦君、函館
東R.C.小野孝良君、函館五稜郭R.C.菅野良治君・大日向豊吉
君

◎会長報告 新 博夫 会長

- 千葉 昭 会員・藤谷武一 会員へポール・ハリス・フェロー認証状メダルがきております。
- 本年度の活動報告書の提出をお願いします。

◎幹事報告 阿相 義則 副幹事

- ロータリー適用相場が7月1日より現行115円より122円に変更になります。
- 明日午後6時30分来期の委員長会議を開催します。

◎親睦活動委員会 大和 明 委員

ニコニコBOX投入報告

- 新 会長……BOXに協力。
- 森(秀) 会員…… ”
- 大和 会員…… ”
- 佐々木 会員…… ”
- 野田 会員…… ”
- 久保 会員…… ”

中川 会員……長年労働行政に寄与したということで、労働大臣賞を受けて来ました。

東田 会員……ゲストの厚谷さんを歓迎して。

◎卓話 「はこだて財界の30年」 はこだて財界主幹 厚谷 郁夫 氏
都市が活性化するには、大胆な奇想天外なアイデアを必要とする。函館の場合、色々な方が漸新なアイデアを出しても、それをプロジェクトしていく構想力に欠けているのではないかと思う。作家有吉佐和子氏の代表作に「恍惚の人」があるが、都市も生きものである、誕生から幼年期・少年期・成年期・壮年期と区別されるが、このような区分で考えると、函館は今「恍惚都市」ではないかと考える。

時代はいつでもそうであるが、いつの時代でも過度期である。こういうことではいけないということで若返り運動が出てくる。

函館は先発都市であり、かつて相馬・渡辺・小熊のご三家が力を有し、市長・商工会議所会頭もご三家の人脈につながる人がなっていた。

函館は、ささやかな繁栄と大きな挫折を繰り返してきている挫折都市である。例えば、榎本武陽によるエゾ共和国の建国と失敗、関拓使本庁の函館から札幌への移転、日本銀行北海道支店の函館から小樽・札幌への移転、相次ぐ大火、北洋漁業の衰退、青函連絡船の廃止等挫折の歴史であると考えます。

私は「はこだて財界」創刊時の昭和40年代には、当時の「新全総」に基づく石油コンビナート建設を中心とした函館圏総合基本計画について、公害産業として批判してきました。昭和50年代に入ってから、トンネル開通に合わせて博覧会を開催するよう提案し、大野平野、大沼、森町を観光地帯としてもうひとつ観光拠点都市をつくり、函館を行政の管理や中枢都市にするよう提言してきた。

私は、以前から函館を活性化するためには、①総合大学の開設、②独立した新聞社の存在、③本店のある金融機関の存在を訴えてきた。函館はこれまで激動の時代に適応できなかったことが多かったわけですが、これからは素朴で大胆な発想が必要であり、21世紀に向けてはばたく必要があると考えます。そのためには、簡単に飛びつき結びつけることのできるイベ